

○布佐ポンプ場築造事業
(公共下水道事業特別会計：治水課)
10億7051万円

布佐ポンプ場の機械・電気工事について26年度内の完成を目指します。

○北新田堤外排水路改修事業
(公共下水道事業特別会計：治水課)
2億451万円

○後田樋管整備事業(公共下水道事業特別会計：治水課)
6500万円

○久寺家第1排水区整備事業(公共下水道事業特別会計：治水課)
1億3020万円

○関東排水区整備事業(公共下水道事業特別会計：治水課)
1億4556万円

○小・中学校体育館の耐震補強(教育費：教育総務課)
7億9084万円

根戸・並木・我孫子第二・新木小学校、久寺家中学校(25年度3月補正予算で対応)の5校で体育館の耐震工事を行い、併せてトイレや外壁、省エネルギー型照明などの改修を行います。また、耐震工事が完了している湖北台西小学校と湖北台中学校の体育館で、トイレや外壁、省エネルギー型照明への交換などの大規模改修工事を行います。

○公園のバリアフリー化推進(土木費：公園緑地課)
3837万円

湖北台中央公園のバリアフリー化工事と、つくし野4号公園のバリアフリー化の実施設計を行います。

○保健センターの運営(衛生費：健康づくり支援課)
1458万円

保健センターのエレベーターについて、地震時などの安全性を高めるため、改修を行います。

④若い世代に魅力ある、子育てしやすいまちづくり

○子どもの居場所づくり(民生費：子ども支援課)
1422万円

あびこ子クラブを、並木小学校と布佐南小学校で開設します。

○小・中学校の教室環境の整備(教育費：教育総務課)
634万円

計画的に小・中学校の教室にエアコンを設置するため、26年度は中学校へのエアコン設置工事の設計を行います。

○小中一貫教育の推進(教育費：指導課)
550万円

布佐中学校、布佐小学校、布佐南小学校の3校で学校間の連携や交流活動に取り組みとともに、教科カリキュラムの開発などを行います。

○私立保育園への保育実施委託(民生費：保育課)
5298万円

私立保育園運営費補助事業(民生費：保育課)
1899万円

天王台北地区で開園する定員80人の私立保育園「天王台さくら保育園」に保育の実施を委託します。また、運営に対して補助金を交付します。

○こども発達センターの施設整備(民生費：子ども相談課)
885万円

増築工事の実施設計を行います。28年度の開設を目指します。

○小児インフルエンザワクチン接種費用の助成(衛生費：健康づくり支援課)
1385万円

10月から県内初となる小児のインフルエンザワクチン接種費用の助成を開始します。生後6か月から小学校6年生までの子どもを対象とします。助成額は1回につき千円とし、1人あたり2千円まで助成します。

○二次予防事業の推進(介護保険特別会計：高齢者支援課)
649万円

介護認定を受けていない65歳以上の方に生活機能チェックリストを送付し、要介護状態となるおそれのある高齢者を把握し、予防事業を実施します。26年度からは新たに予防事業の対象とならなかった方に、生活機能を維持・改善するためのアドバイスを送付し、介護予防に取り組めるよう進めていきます。

○布佐駅南側まちづくり事業(土木費：地域整備課)
2億5105万円

布佐駅南口西公園や都市計画道路3・5・23号新木駅・布佐南線、下水道の整備を進めます。また、耐震性防火水槽を含む東公園の設計を行います。

○手賀沼公園・久寺家線の整備(土木費：交通課)
3億1139万円

○新木駅の整備(土木費：交通課)
9552万円

○湖北小学校入口交差点の改良(土木費：道路課)
3600万円

平成26年度 一般会計予算について

歳入

繰入金が増加
市税及び地方消費税交付金が増加

一般会計予算が前年度より増額となったのは、経常的経費で障害者介護給付費などの扶助費や、国民健康保険事業特別会計・介護保険特別会計等への繰出金など社会保障費全般が増加したことなどによるものです。一方で、東日本大震災からの復興や放射能対策に一定の用途がついてきたことから、政策的経費は約7億2千万円の減額となりました。

引き続き布佐東部地区での震災からの復興を進めていくとともに、局所的に放射線量の高い箇所が発見された場合には、速やかに除染を行うなど放射能対策を継続して実施します。

また、新たな事業として若い世代が住宅を取得した場合に補助金を交付するなど、定住化策を本格的にスタートさせます。

歳出

社会保障費の増加により
民生費が大幅増

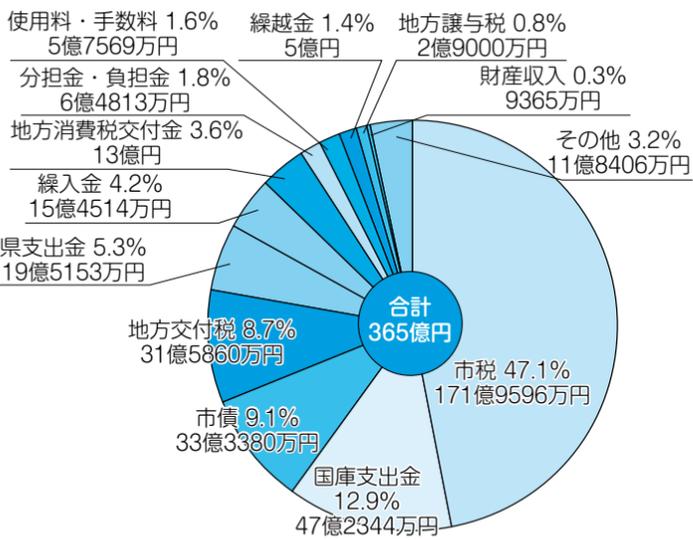
繰入金は、政策的事業に充てる財源として財政調整基金(年度間の予算の調整を行うための積立金)から12億2800万円の繰入を見込んでおり、各種特定目的基金や特別会計からの繰入と合算すると1億4035万円(8.3%)減の15億4514万円となっています。市債は、前年度よりも対象事業が減少したことから9920万円(2.9%)の減となっています。

民生費は、天王台さくら保育園の開園に伴い私立保育園委託料が増となったことや、年々増加する障害者介護給付費・生活保護費、国民健康保険事業特別会計や介護保険特別会計等への

公債費は、臨時財政対策債の償還に係る支払元金の増加により8675万円(2.9%)の増となっています。

一般会計予算の構成比(グラフ)

歳入予算の構成(構成比順掲載)



歳出予算(目的別)の構成(構成比順掲載)

